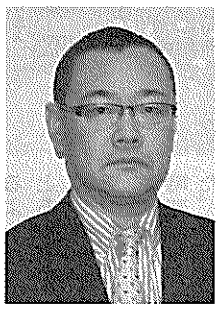
旭Ｐ連だより

旭川市ＰＴＡ連合会

【事務局】
旭川市六条五丁目
日章小学校三階
ＴＥＬ　二三－二九一六番
ＦＡＸ　二三－二九一七番
【発行責任者】小山英明

栄光の架橋



旭川市ＰＴＡ連合会会長
小山英明

本年度から旭川市ＰＴＡ連合会の会長を仰せつかりましたが、私は常々「どうせやるなら楽しくやりたい！」という理念を、役員の皆様方にお話しをさせて頂きました。輪番で仕方なく役員になってしまった方、頼まれて断りきれずに引き受けてしまった方等々、様々な事情で役員を引き受けていらっしゃることと思います。嫌々やっても時が流れて一年間は過ぎていきますが、結果は変わっていたように思います。せっかく縁あって一緒に市Ｐ連の活動をさせて頂くのですから、「楽しくやりましょう！」と、活動して参りました。この一年間ご協力頂きました皆様方に心よりお礼申し上げます。

さて、平成二十四年一月、宮崎県都城市の子どもたち七名が来旭し、夏季に都城市に行った旭川市の子どもたち四名との交流事業、旭川市・都城市児童・生徒ホームスティ冬季交流事業が行なわれ豊かな心を育む一助となりました。しかし残念ながら今年度をもって二十五回の長い歴史に幕を下ろすことになりました。二十五年前、当時の旭川市ＰＴＡ連合会山口会長と都城市ＰＴＡ連絡協議会池永会長が始められたこの事業は、旭川市と都城市の多くの子どもたちとその家族を繋いで参りました。「広げよう友達の輪」をスローガンに、ホームスティを柱にしたこの事業は子どもたちにとっても、また私たち大人にとっても、たいへんすばらしいものでした。しかしここ数年は参加児童の減少が続き、これ以上この事業を続けることは難しいとの判断をお互いに致しました。これまでこの事業に関わってこられました多くの諸先輩方のご労苦をたたえ、心よりお礼を申し上げます。

この事業は幕を下ろしましたが、都城市ＰＴＡ連絡協議会の皆様方とはこれからも交流を続けて参りたいと思っております。都城市の高木会長とお会いして、今後はどのような交流事業ができるのか検討することになっております。

最後になりますが旭川市ＰＴＡ連合会を支えて頂きました多くの皆様方に厚く感謝を申し上げます。

ＰＴＡ研究大会を終えて

研修部担当
副会長　佐々木　直人

十一月二十七日、第五十二回ＰＴＡ研究大会が地場産業振興センターをメイン会場にし、旭川市神楽公民館・旭川市大雪クリスタルホールにて約七百三十名の参加者のもと開催されました。

「笑顔につながる　みんなの絆！」の大会テーマのもと、昨年よりも多い九部会を開催し、それぞれ単Ｐでの実践発表やグループ討議、また、専門の講師による講演会を実施し、参加された皆様には充実した時間を過していただいたものと思います。全体講演では、「アメリカの現状から教育を考える」と題し、アメリカで子ども達を更正する施設で活躍された林壮一様にご講演をいただきました。学校と家庭と地域の環境が子ども達に大きな影響を与える事など大変勉強になる講演でした。

ＰＴＡ研究大会集録を発刊しています。その中に、全体講演や各部会の記録を記載しています。また、アンケートの集計や皆様のご意見やご感想も掲載していますのでぜひ目を通していただき参考にしてください。そして、参加出来なかった皆様に伝えていただければ本大会が意味のある大会になると思います。また、これを基に次年度の大会運営を行います。各部会の領域は同じでも中身が違う部会になっていますのでご一読いただければ幸いです。

本年度の大会主管校である常盤中学校ＰＴＡの皆様には大変ご尽力をいただき、大会運営がスムーズに行われた事を厚く御礼申し上げます。また、主管ブロックであります「中央ブロック」「新永ブロック」「東部ブロック」のＰＴＡの皆様、大会当日のお手伝いを快く引き受けていただき誠にありがとうございました。ＰＴＡ研究大会の主管校は当番制の為、毎年変更になります。慣れない中での運営を実施していただいておりますので皆様のご協力なしでは出来ません。今後も皆様のご協力のもと、よりよいＰＴＡ研究大会にしたいと思いますので宜しくお願いします。

最後になりますが、本大会の開催にあたりご臨席賜りましたご来賓の皆様、各部会で貴重な講演や助言をいただきました皆様に感謝を申し上げます、ありがとうございました。

母親研修会

母親委員長　村岡　規佐子

参加者に笑顔になってもらいたいという思いから「Ｐｏｗｅｒ　ｏｆ　Ｓｍｉｌｅ」とのテーマを掲げ、九月十一日（日）神楽公民館で二百四十三名の参加者を迎え開催しました。

「今年はどんな分科会があるの？」「○○分科会に参加できてよかった！」と思われるような質の高い研修会にすべく、何回も協議・検討を重ねました。

今年も六つの分科会を企画し設定しましたが、どの分科会も魅力に富み満足いただけるものとなりました。また、全体会ではテーマを念頭におき旭笑長屋喰亭おまんまさんに「時そば」を披露していただき心を和まされました。

開催日が東日本大震災からちょうど半年という節目だったことから、旭川地方協力本部のご協力をいただき写真をお借りして展示させていただき、あらためて災害の大きさを再認識するとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしつつ、一日も早い復旧を願いながら参加者は見ておりました。

核家族が進行するなか、人と人との交流の場となる活動がますます大切になってきます。このような活動の一環として一人でも多くの方々に参加していただける研修会をこれからも企画していきたいと思っています。

参加くださいました皆様、私たちの思いをご理解ご協力くださいました講師の皆様に母親委員会を代表してあらためまして厚く感謝申しあげます。

総務部担当

副会長　真下仁志

総務部担当として教育懇談会を本年度も開催し、十月の開催時期に合わせて六月より各単Ｐにご案内をさせて頂いております。

この事業の目的は、各単Ｐの役員の方々にも市Ｐ連事業への参画と単Ｐでの要望、あるいは、日頃感じている疑問などを議論することによって、単Ｐ内での状況、現状などを把握して頂き、意識の共有化を図ること。また、単Ｐでまとめたものをブロックでも討議をし、近隣の学校のことをより知って頂く手段として、さらに、行政並びに市Ｐ連を身近に感じて頂くために行っている事業です。

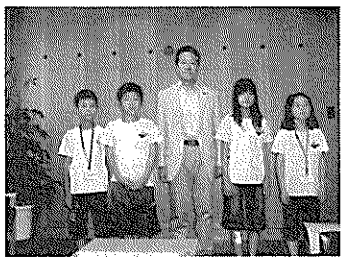
本年もこの事業をいかに各単Ｐへ周知を図れるか、菊池部長を始めとする総務部員で検討してまいりましたが、今後とも皆様にとってより身近な事業を目指していければと考えます。

もう一つの事業として、ビールパーティーを開催し、今年で四年目を迎えました。年々参加者も増え、各学校間の交流事業として定着していければと思います。今年は、九月一日（土）の開催予定ですので、ご参加宜しくお願い申しあげます。

最後に、皆様のご協力により無事一年間の事業を終了することができました。また、引き続きご支援、ご協力を宜しくお願い申しあげます。

国内交流事業について

事業部担当
副会長　村井為敦



第二十五回国内交流事業が行われました。（七月二十七日～三十一日旭川から宮崎県都城へ、一月五日～九日都城から旭川に。）旭川は四人が参加、親から離れて旅するのも、見知らぬ人の家に泊まるのも初めてで、出発の際には不安でいっぱいの様子でしたが、帰って来たときには日焼けもし、心身ともにたくましくなって戻ってきました。

旭川の子供たちの思い出はやはり海。北海道とは違う青い海、白い砂浜そして何より水が温かいのには感激していました。都城の子供たちは当然雪。見るだけでびっくり、触れば超感動。特に一月八日に行われた旭Ｐ連事業冬のファミリームーブメント雪中運動会に参加し、旭川市の小学生約七十名と交流しました。（ちなみに七月二十四日に夏のファミリームーブメント田んぼの生き物調査が行われました。）

この事業の目的は、日常では学べない自然・社会環境、風土や習慣を体験し、また訪問先の人々と触れ合うことで豊かな心を育み、我が郷土を見直すというものです。

実はこの国内交流、残念ながら本年度で中断することが決まっています。本当にすばらしい事業でありました。この国内交流事業がいつか再開されること、この事業に参加してくれた子供たちの友情が生涯続くことを願っています。

旭川市ＰＴＡ連合会「ブロック活動」について

「旭川市ＰＴＡ連合会」の組織は、地域ごとに八つのブロックに分かれて活動がなされています。

それぞれのブロックにおいてどのような活動がなされているか紹介させていただきます。

新永ブロック

【ブロック長】涌島　繁（永山東小ＰＴＡ会長）
●新富小学校　●正和小学校
●永山小学校　●明星中学校
●永山中学校　●東五条小学校
●永山南小学校　●永山西小学校
●永山東小学校

【新永地区・役員研修交流会】『北海道のガーデン』～北の大地に咲く可能性～

新永ブロックは、横の連携がよくとれており、日常的な情報交流も円滑で特に中学校下の結束力の強い地区です。ＰＴＡ研修にも積極的で、毎年「北海道教育の日」の近くには各校から十人以上の参加者が集い、教育講演会と懇親会を企画し、研修と交流に努めてきています。

今年度も、十月二十九日（土）に旭川トーヨーホテルで永山東小の同窓生でもある上野ファームの上野砂由紀氏を講師に迎え役員研修交流会を開催しました。平成二十年放映の倉本聰脚本ＴＶドラマ『風のガーデン』の庭をデザイン・造園し話題となった上野氏の、語りかけるような言の葉が、ともすると忘れかけていた「土の匂いや風の匂い」を思い出させてくれる素敵な時間を過ごせました。

旭山動物園とともに観光コースになっている上野ファーム創設期の苦労話や、緒方拳遺作の撮影秘話、新富良野プリンスホテル・風のガーデン設営の裏話等を映像を交えながら講演され、中でも「花を愛し、花を育てることで人々に喜びを与えたい」「様々な人との出会いが人生を変えた」「私の庭を見てもらうことで、もっと北海道が元気に楽しくなればいい」と、笑顔で語る姿が眩しく輝いていました。

『手間暇かけて育てる』ことは、家庭教育にも通じ、その産みの苦しみがあるからこそ、咲いた花は美しく愛おしい。ん？　その後の懇親会の様子はあまりにも熱気に満ちあふれており、紙面では公表できないほどに盛り上がったのでした。

神楽ブロック

【ブロック長】佐藤昌宏（神楽小ＰＴＡ会長）
●神楽小学校　●神楽岡小学校
●緑新小学校　●緑が丘小学校
●西御料地小学校　●西神楽小学校
●豊和小学校　●千代ケ岡小学校
●神楽中学校　●緑が丘中学校
●西神楽中学校

【神楽ブロック会議並びに懇親会・教育講演会】

神楽ブロックでは、六月三十日（木）に、各小中学校のＰＴＡ会長・副会長・会計・監査・事務局・校長・教頭が出席し、総勢八十四名の参加を得て、旭川ターミナルホテルにおいて、ブロック会議を行いました。年間活動計画の確認、各単位ＰＴＡの交流等を行いました。続く懇親会では、各役員同士が親しく自己紹介をし、ゲームなどで盛り上がり、各単位ＰＴＡの具体的な活動を話し合い、交流を図ることができました。

また、十一月二十九日（火）には、神楽小学校三階ホールを会場とし、旭川市社会福祉協議会事業担当主査の佐藤史教氏をお招きして、演題「福祉とは」で教育講演会を行いました。寒い日でしたが、九十七名の参加がありました。福祉とはどういうものなのか、福祉の勘違いについて実例を紹介しながら、具体的に話していただきました。最後は、困ったときはお互い様で、お互いに助け合うことが大切であると強調されて、講演は終了しました。参加者の感想からは、「福祉はだれもが通る道だと認識しました。」「自分のできる身近なボランティアから取り組みたいと思います。」等、これからのかかわりを示唆する講演会になりました。

西部ブロック

【ブロック長】坂下正忠（向陵小ＰＴＡ会長）
●緑台小学校　●向陵小学校　●末町小学校
●北光小学校　●大有小学校　●近文小学校
●鷹山小中学校　●江丹別小中学校
●新旭川小学校　●春光台中学校
●北星中学校　●北門中学校　●新旭川中学校
●旭川聾学校

【西部ブロック会議並びに懇親会】

八月二十三日（火）旭川トーヨーホテルにおきまして、西部ブロック十五校の校長先生・教頭先生・各学校ＰＴＡ代表者一名の各校三名にお集まりいただき、ブロック会議と懇親会を開きました。ブロック会議では、教育委員会へ西ブロックから提出する要望書の内容について確認し、その後各学校のＰＴＡ活動の内容を紹介し合いました。

会議後は市Ｐ連より副会長の大谷地様をお迎えし懇親会を開きました。懇親会ではテーブルを囲んで各学校の話題を交流し懇親を深めました。

また、十月二十二日（土）には旭山動物園の坂東元園長をお迎えし、「命の輝き」と題して向陵小学校体育館において教育講演会を実施しました。今年度は、子供達にも多く参加をしてほしいという願いから、土曜日の午後の開催としました。他の学校でも行事があった中でしたが、約百二十名の参加をいただき無事行うことができました。坂東園長が、たくさんのスライドを提示しながら動物の子育ての姿についてわかりやすくお話され、会場で聴き入った多くのＰＴＡ会員のみなさんの心に得るものが多かった、あっという間の一時間半となりました。

講演会終了後、東日本大震災の義援金を募り、集まったお金は旭川市ＰＴＡ連合会に届けました。

北部ブロック

【ブロック長】東海林拓哉（北彩小ＰＴＡ会長）
●近文第一小学校　●近文第二小学校
●北彩小学校　●春光小学校　●末広小学校
●末広北小学校　●緑町小学校
●東鷹栖中学校　●広陵中学校
●六合中学校　●豊北中学校

【北部地区連絡協議会・懇親会】

北部ブロックでは、恒例の懇親会を七月一日（金）に花月会館を会場として行いました。各学校からはＰＴＡ会長をはじめ役員の皆さんや校長先生・教頭先生に参加をしていただき、百二十名が集うことができました。各単Ｐの紹介では、歌あり踊りありとパフォーマンスを発揮する学校もあり、大変盛り上がりのある懇親会となりました。また、各テーブルでは、ＰＴＡ活動の情報交流や子育てについて会話がはずみ、和やかな交流の輪が広がっていました。

九月六日（火）には、百十四名が参加し、北鎮小学校において教育講演会を行っています。講師として北海道教育庁上川教育局社会教育指導班社会教育主事の芳賀一郎先生にお越しいただき、一時間半にわたって「早寝早起き朝ごはん運動」についてご講演をいただきました。全国学力学習状況調査の結果から基本的な生活リズムの大切さや学力との係わりなどについて具体的なお話しをしていただき、参加した皆さんからは「規則正しい生活の大切さや重要性がよく理解できた」「生活を見直すきっかけとなった」等の声が寄せられました。

北部ブロックでは、上記の活動の他に協議会を二回行っています。今年度も毎回各単Ｐの会長・事務局長が参加し、必要事項の熱心な検討と共通理解を図りながら推進することができました。

南部ブロック

【ブロック長】寺西　正（東光小ＰＴＡ会長）
●啓明小学校　●千代田小学校　●共栄小学校
●東栄小学校　●旭川第二小学校
●旭川第三小学校　●東光小学校
●東陽中学校　●東明中学校
●東光中学校　●旭川第二中学校

【南ブロック教育講演会報告】

南ブロックでは、十月十二日（水）東光小学校体育館において、「教育講演会」を開催しました。

講師は、旭山動物園の坂東元園長。演題は、「命をとおして伝えること」でした。当日は、あいにくの雨で天気には恵まれませんでしたが、南ブロック十一校の会員約百五十名が参加し、坂東園長のユーモア溢れるお話に、あっという間の一時間三十分でした。子育てだったり、命だったり、動物園の目指す姿だったりと、坂東園長の幼少期からの体験や獣医・飼育係として経験してこられたことをもとにしたお話は、説得力があり、参加者の心をとらえて放しませんでした。動物たちとの関わりを通しながらも、人間としての在り方や命や個性に対する思いを深く考えさせられる内容で、家庭教育や学校教育にもつながる大変有意義なご講演でした。時間が許せば、もっともっとたくさんのお話をお聞きしたいという思いを多くの参加者が共有したものと思います。次年度以降も、有意義な講演会をぜひ続けていきたいと考えています。

東部ブロック

【ブロック長】野田　武彦（旭川小ＰＴＡ会長）
●愛宕小学校　●愛宕東小学校
●旭川小学校　●旭川第一小学校
●旭川第五小・花岡中学校
●愛宕中学校　●旭川中学校

【東部ブロック研修会】

今年度の研修会は旭川小学校ＰＴＡが中心となって教育講演会を開催しました。

十一月二日（水）、旭川小学校体育館を会場に極北写真家・自然派作家の湯口公氏を講師にお招きして『アラスカ大自然を飛行する～夢をつらぬく人生～』と題してご講演をいただきました。

「いつか大空を飛びたい。」旭川で育った湯口氏は小学生の卒業文集に「夢は戦闘機のパイロット」と記した。大学卒業後、「漠然と空を飛ぶのではなく、プロとして飛びたい。」と航空自衛隊のパイロットになった。アラスカ上空を飛んだ際、アラスカの大自然に魅せられた湯口氏は航空自衛隊に辞表を出した。「夢を追うことを選んだ。」湯口氏は、アラスカ現地でのライセンスを取得し、念願の愛機を購入し、アラスカネイティブ村を百回以上飛行されたとのこと。

当日の講演では、湯口氏自身が飛行機から撮影したアラスカ大自然の雄大な自然を、鳥になった気分で堪能することができました。また、エスキモーの生活ぶりや、アラスカの小学校の様子。さらに、オーロラの美しさは神々しく感じられました。

「夢はかなうものだと子どもや若者に伝えたい。」という思いが、湯口氏自身の「生き方」を通して参加者に伝わった、大変貴重な講演会となりました。

中央ブロック

【ブロック長】堀川真市（常盤中ＰＴＡ会長）
●青雲小学校　●町小学校　●日章小学校
●北新小学校　●明日小学校
●東町小学校　●豊岡小学校
●豊岡中学校　●常盤中学校
●北部中学校　●北陵中学校

【中央ブロック研修会・懇親会】

中央ブロックでは、一回目は十月二十二日に定例化してきたボウリング大会・懇親会を開催しました。

前半のボウリング大会ではディノスボウル旭川にて各単Ｐより二チームの約八十名が参加し、単Ｐ毎の合計で成績を競い合いました。好プレーや珍プレーで大いに盛り上がりました。

後半は、会場をバスで移動し、表彰式を兼ねての懇親会が行われ、数少ないブロック全体での交流に様々な話を通して親睦が深まり、とても有意義な懇親会となりました。

二回目は十二月七日に常盤中学校を会場に、「ネット犯罪から子供を守るには」と題して講演を行いました。時代の流れに沿った内容と児童達が犯罪に巻き込まれない為にも、ＰＴＡ会員が理解し、対処して行かなくてはいけないと感じました。

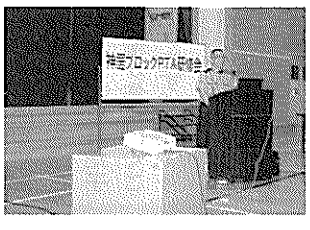
三回目は、今年度のブロック活動の反省を行い、次年度以降に引き継ぐ内容を話し合い確認しました。

神居ブロック

【ブロック長】菊池慶治（神居小ＰＴＡ会長）
●北和小学校　●石垣小学校　●神居小学校
●雪沢小学校　●神居東小学校
●南新小学校　●北和中学校
●神居中学校　●神居東中学校

【神居ブロック研修会・交流会】

今年度は数年ぶりに研修会を行いました。三月十一日の東日本大震災を経験して「災害に備える」をテーマに、講師として旭川市消防本部防災課主幹　柏谷代彰氏をお迎えしました。神居ブロックに属する忠和地区は石狩川の氾濫による市内でも数少ない水没する地域となっていますが、意外と知らない人も多くハザードマップを見ながら分かり易く説明していただき、たいへん参考になりました。また、実際に被災地に派遣された救援の様子等をスライドで紹介していただき、改めて震災の凄さに胸が痛くなる思いでした。他ブロックの研修にもお奨めいたします。



十月二十八日には交流会（ボウリング大会と懇親会）を地元高砂台ボウリングクラブと焼肉じゅ～じゅ～で行い、市Ｐ連の役員の方にも参加していただき、市Ｐ連と各学校の役員間との交流も図ることができました。

二回の役員会議の中心議題は年間計画の検討と活動の反省ですが、研修会のもち方や交流会の方法で新たな方向も出され、次年度以降のブロック活動の充実にむけて有意義な話し合いがもて、また、ブロック内の絆も深められた今年度と感じました。

編集後記

平成二十三年度は、未曾有の東日本大震災が発生し、尊い多くの命が失われ、甚大な被害を被り、被災された皆様の一日も早い復興・復旧を願う日々です。

昨年度は『絆』がキーワードとして多くの場面で使われましたが、ＰＴＡ活動においても、『絆』を大切にした年だったと思います。

ＰＴＡ研究大会テーマ「笑顔につながる　みんなの絆！」が示すように、全ての本連合会の活動も『絆』の文字に凝縮されると思います。

旭Ｐ連だよりは、会長の基本理念、事業部、研修部、母親委員長、そして総務部と、今年度の活動の振り返りを掲載しています。さまざまな事業を通じて感動した事や、活動の中で学んだ事等を代表して記述してあります。

また、八ブロックの創意にとんだ活動も掲載していますので、ご高覧いただければ幸甚です。そして、来年度の活動に役立てて頂ければ幸いに存じます。もっと多くの方に、書いて頂きたいのですが紙面に限りがありますことをお許し下さい。

総務部一同